

不妊虫放飼法によるアリモドキゾウムシの根絶防除

奄美群島等特殊病害虫特別防除事業費（平成13年度新規）

1. 目的

奄美群島には、本土等に未発生のアリモドキゾウムシ等の特殊な害虫が発生しており、さつまいも等に相当の被害を与えているばかりでなく、その寄主となる植物の未発生地域への移動が禁止、制限されているため、奄美群島の農業振興上の重大な障害となっている。

さらに、これら害虫類の発生を放置することは、未発生地域へのまん延の危険性を増大させることとなるので、早急に防除対策を講ずることが必要である。

このため、アリモドキゾウムシについて、不妊虫放飼法による根絶防除を実施する。

2. 平成13年度予算概要

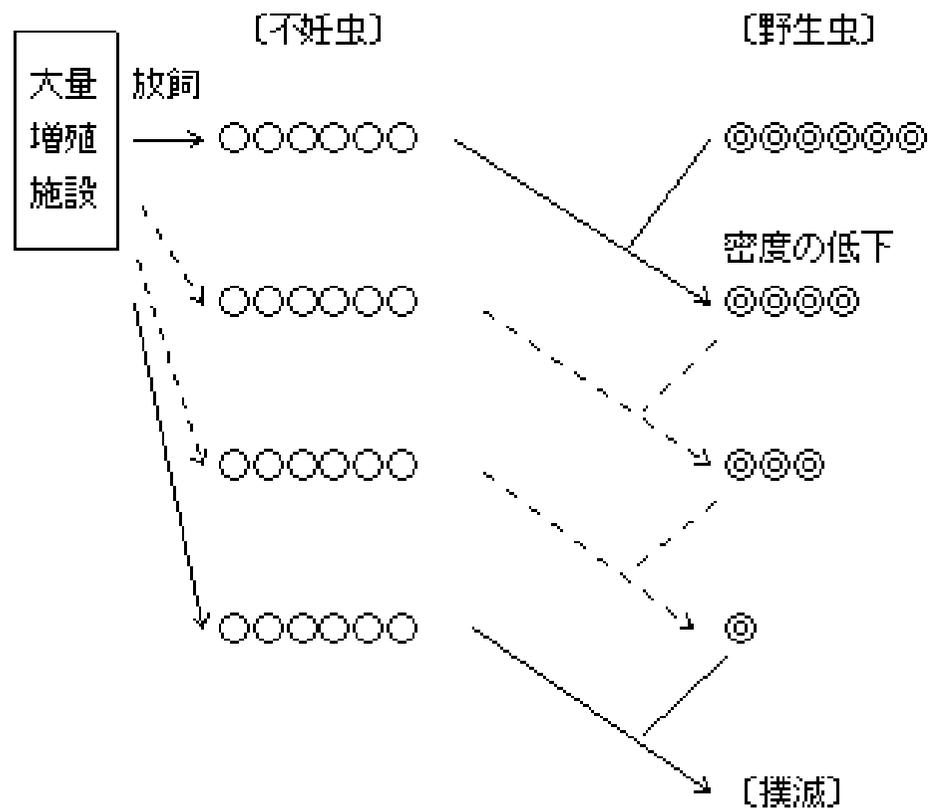
人工的に大量増殖したアリモドキゾウムシに放射線（コバルト60）を照射して不妊化させ、喜界島において野外に放飼（40万頭/週）することで、野生虫の密度を経時的に低下させ最終的に根絶を図る。

3. 平成13年度予算案額

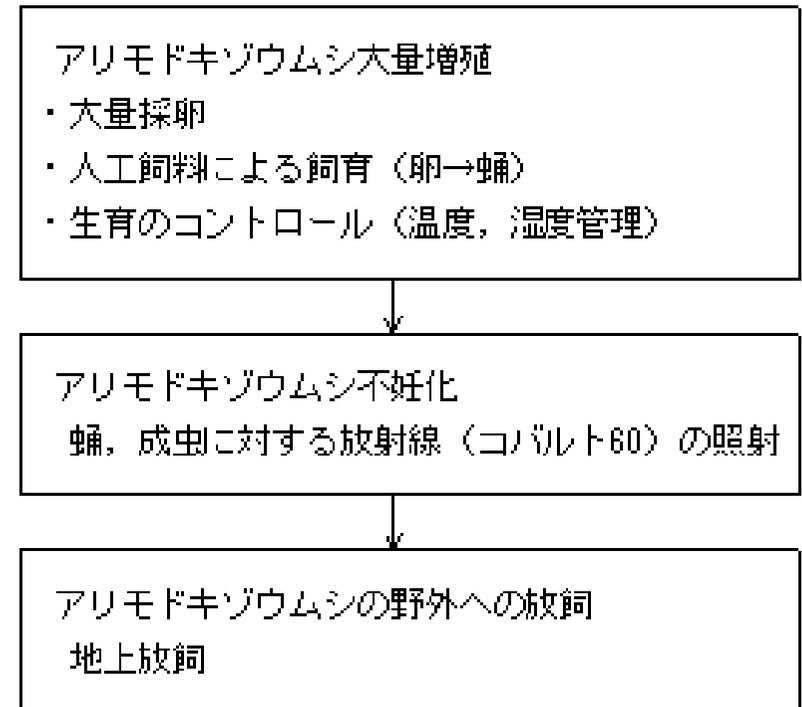
予算案総額	127,723千円（68,013千円）
うち原子力関係	66,890千円（29,678千円）

不妊虫放飼によるアリモドキゾウムシの根絶防除

1. 不妊虫放飼による根絶防除のイメージ



2. アリモドキゾウムシ根絶事業の概要



原子力関係事業の進捗状況

(様式1)

事業名 (奄美群島等特殊病害虫特別防除事業費)

省庁名 (農林水産省)

事項	年 度	事業実施期間	平成11年度 までの実績	平成12年度 計 画	平成13年度 計 画	平成14年度 計 画	平成15年度 計 画	実施機関名 又は委託先	備 考
ウリミバエ防除, アリモドキゾウムシ根絶実証 1. ウリミバエ不妊虫大量 増殖施設の設置 2. 喜界島 3. 奄美大島 4. 徳之島, 沖永良部島 与論島 5. アリモドキゾウムシ 根絶実証 喜界島 6. アリモドキゾウムシ 根絶事業 喜界島		54~59年度						鹿児島県	
		55~60年度	60年10月 ウリミバエ 根絶						
		59~62年度	62年11月 ウリミバエ 根絶						
		61~ 平成元年度	元年10月 ウリミバエ 根絶						
		平成6年度 ~平成12年度	不妊虫放飼	不妊虫放飼					
		平成13年度~			密度抑圧防 除及び施設 改修	密度抑圧防 除及び施設 改修	密度抑圧防 除及び施設 改修		